

空き店舗を活用し、女性団体の活動拠点と
市民や観光客のコミュニティスペースのための「おだわら女性プラザ」を開設

小田原商工会議所（小田原 TMO）

機関名	小田原商工会議所（小田原TMO）		
所在地	神奈川県小田原市城内1-2-1		
電話番号	0465-23-1811		
地域概要	(1)管内人口 14千人	(2)管内商店街数 33商店街	
事業の対象となる	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 66商店	
商店街の概要	(3)空店舗率	(4)大型店空き店舗数 2店	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（高齢者等交流施設）
 ・おだわら女性プラザの開設、運営
 総事業費 4,919千円

【事業実施内容】

1. 背景

小田原TMOでは、小田原市中心市街地の特性や資源を最大限に生かした街の活性化や交流人口の増加等により、小田原を中心とした地域経済の発展強化を目指し、小田原宿観光回遊バスの運行や物産を活用した「さかな・食匠のまち」事業などさまざまな街づくり活動を展開してきた。なかでも空き店舗活用事業は、周辺商店への波及効果や中心市街地の活力の低下、空洞化に歯止めをかける効果が大きく、商店街の情報発信拠点となる「小田原情報プラザ（H11.10～H13.9）」や女性起業家によるチャレンジショップ「TMOミュージアムショップ（H13.8～H15.7）」の運営により大きな成果をあげており、これに続く新たな空き店舗事業を模索していた。一方、男女共同参画や教育、高齢化社会、エコロジー、リサイクルなど様々な分野で活躍している女性団体が、近年会員の固定化や高齢化などにより団体活力の低下を招いており、小田原市では団体の活性化策や支援策を探っていた。



おだわら女性プラザ位置図
（小田原市HPより）

そこで、双方の施策を推進する両者の思惑が一致する形で、中心市街地の空き店舗を活用し、周辺商店街及び女性団体の活動や交流の拠点、及び市民や観光客が気軽に立ち

寄れ、心地よく過ごせるコミュニティスペースを設置、運営することとした。

2. 事業内容

女性団体相互の交流を活発にし、仲間づくりやネットワークの輪を広げる等団体の更なる活性化を側面的に支援するとともに地域活性化を図るため、「おだわら女性プラザ」を開設した。

(1) 目的

中心市街地の空き店舗を利用し、施設利用者であり消費の主役である女性に周辺商店街を「見て」「歩いて」「感じて」もらい、商店を利用する側の率直な意見を商業者にフィードバックする一方、商業者側から新商品のマーケティングリサーチの場としての利用など、商品の購入に繋がるような連携事業を実施し、商業者及び女性団体相互の「交流の場」として活用する。これとともに、仲間づくりやネットワークの構築など、様々な分野で活躍する女性団体の活動や情報発信の拠点としての利用を図り、団体の更なる活性化を側面的に支援する。

(2) 開設場所の選定

開設場所の選定に当たっては、TMOスタッフが小田原駅周辺を歩き、空き店舗と思われる物件16件をリストアップし、以下の条件により選定した。

- ・商店街との連携、協力が欠かせないため、商店街活動が活発である。
- ・利用者の利便性を考え、小田原駅から適度な距離にある。(小田原の商業について興味や関心を持ってもらうため、主な利用者であり、消費の主役である女性に商店街を歩いてもらう。)
- ・女性団体の学習会や活動発表が可能な広さを備えている。
- ・高齢者や子ども連れなど、多くの人が利用できるようにバリアフリー化されている。
- ・周辺の公共公益施設とのバランスがとれる。

その結果、お堀端商店街振興組合の中にあり、適度なスペースを持ち、エレベータが完備されている「音羽プラザビル」の2階を選定した。

(3) 施設の概要

- ①施設名称 おだわら女性プラザ
- ②所在地 小田原市栄町一丁目14番41号
音羽プラザビル2階(エレベータ完備)
- ③規模 66㎡(約20坪)
- ④開館時間 年中無休(年末年始を除く)11:00~19:00
- ⑤利用料 無料



おだわら女性プラザ外観

(4) 施設の内容

- ①簡単な打ち合わせや軽作業等ができるスペースの提供
- ②女性団体を始め多くの女性が気軽に立ち寄り、仲間づくりや交流の場の提供
- ③周辺商店街と共同で実施するイベントや講座の開設
- ④周辺商店街に対するマーケティングリサーチの実施
- ⑤地場産品である伝統的工芸品のPR

(5) おだわら女性プラザの愛称

親しみやすく、呼びやすい愛称をつけるため、一般公募を行い市内外から 58 件の応募があった。おだわら女性プラザ運営委員会の審査の結果、お茶を飲み歓談しながら交流が図れる拠点として、あらゆる年齢層に親しまれるようにという意味の「CHAT 茶っと (ちゃっとちゃっと)」に決定した。



おだわら女性プラザ内

(6) オープニングイベントの実施

①オープニングセレモニー

期 日：平成 16 年 1 月 26 日 (月)

内 容：テープカット、あいさつ、記念コンサート (小田原レディースフルートアンサンブル“オルフェ”、ハンドベルリングーズ“with”)、記念講演会 (「女性が美しくなれば、社会が変わる」美容研究家 吉村薫子)



オープニングセレモニーの様子

②オープン記念イベント

期 日：平成 16 年 1 月 27 日 (火) ~2 月 1 日 (日)

内 容：市内で活動している女性団体を講師とした講座や、多くの女性が興味や関心を持って参加できるような体験教室、ミニコンサートを実施した。6 日間という限られた時間の中で、多様なイベントを行い、おだわら女性プラザの活用方法を女性団体や一般の参加者に紹介した。



オープン記念イベントの様子

【 効 果 】

1. 来街者の行動

イベントや講習会の開催により、女性団体をはじめとした中心市街地への来街が増加した。

2. 商店街の認知度

おだわら女性プラザのオープンが各マスメディアに取り上げられ、お堀端商店街振興組合のPRをすることができた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. PR

施設利用の増加を目的としているので、PRについては広報誌等で実施しているが、開設して半年のため地域に十分に浸透していない。今後はイベント等でおだわら女性プラザのチラシを配布する等PRしていく。

2. 事業実施のノウハウ

PR不足に関係するが、おだわら女性プラザの利用目的について、十分に利用者に伝わっておらず、施設の使い方を含めた周知、内部マニュアルを確立していきたい。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

施設内容についてのPRを行政・TMOを通じて行うとともに、自らも新聞社等に働きかけるなど、多くの方法で周知し目に留めてもらうことが必要。

【 関 連 U R L 】

小田原商工会議所 <http://www.odawara-cci.or.jp/index.html>

小田原TMO <http://www.odawara-tmo.com/>